

小型風力発電機メーカー エコエネルギーを創造する

A-WING NEWS

日本と各国の架け橋に



A-WING
INTERNATIONAL

2012年11月7日発行

バングラデシュにてBOPビジネス

アジア最貧国のひとつと言われるバングラデシュは、国土の大部分が海拔12メートル以下の低地で、サイクロンが起きる度に洪水の被害に見舞われています。

2007年11月の超大型サイクロン「シドル」では、死者、行方不明者あわせて4000名以上、被災家屋は50万件にのぼりました。現地で動いているNGOは、その直後に調査を行い、被害が甚大であった南部の5つの村で被災した青少年の教育支援を通して心理ケアを開始している。また活動地の貧困家庭では、人口の30%以上が貧困ライン以下で生活しており、農村部では多くの人が慢性的な貧困状態である。特に女性は、宗教的・文化的背景から就労の場が限定されている。こうした状況を受け、その後、村の女性等に対する職業訓練として裁縫と機織りのコースを開始。未成年者が近隣の都市や、首都ダッカに出稼ぎに出ているケースが多いことから、彼らに対する職業訓練に力を入れる他、職業訓練修了者を対象に協同組合を設立し青少年の経済的自立を支援している。その他にも、地域住民に対する意識啓発を行い村の自立発展性を目指している。



そこで、A-WINGは来年から1年間、当社小型風力発電機を毎月5台ずつ電気のない村へ送ることを決定！！現地価格で1台15万円かかるが、村の女性達がデザインして作った袋や家具を日本の企業やNPOやNGOとアライアンスを組んで、販売し、その収益を集め、その一部で風力発電機を寄付として贈呈していきます。風力でできた電気で、夜の明かりを灯し、ミシンを動かし、また新たなデザインが生まれ、風力でできた電気でパソコンや携帯を充電させ、政府の情報を察知でき、より新しい情報が入手でき、地域全体とした活性化につながり、新たな発想が生まれられてくる。またそこでの電気を、村全体の管理とし雇用を増やし、パソコンや携帯を充電させるたびにチャージ料金をストックしていき、ストックした電気を、基金として積み立て、地域に還元できる仕組みづくりをしていきます。日本の企業、NPO、NGOが協力して、A-WINGの本分である電気のないところに電気を届けることにより、子ども達がより勉強に励み、女性達がより良い物を作り出し、新たな仕組みづくりに役立てることが出来ます。A-WINGは風力を送ることを通して、サステナブルな生活を作り出し、イノベーションできる社会を考えます。協賛していただける企業、団体を探しています。是非、ご協力お願い致します。

お問い合わせは下記連絡先までお願い致します

【お問い合わせ】

〒830-0018 福岡県久留米市通町6-23 栄電舎ビル2F

A-WING 株式会社 中村 祐基

E-mail: yuuki.awing@gmail.com

TEL : 0942-65-8847 FAX 0942-65-8857

Web : <http://www.awing-i.com>

発行人 中村祐基 : yuuki.awing@gmail.com ハイブリット街路灯

